

79th Business Report

第79期中間株主通信

平成31年4月1日～令和元年9月30日

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第79期第2四半期連結累計期間（平成31年4月1日から令和元年9月30日まで）の営業の概況につきまして、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、個人消費の下支えや、企業の設備投資は堅調に推移しており、経済対策及び関連予算等の着実な実施による雇用・所得環境の改善継続等を背景に、景気は安定基調を維持しております。また海外では、米中貿易摩擦の長期化に伴う米中経済の減速懸念、英国のEU離脱問題、香港におけるデモの広がりなど世界経済の不確実性の影響もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

建設業界におきましては、政府の公共投資並びに民間投資は堅調に推移しているものの、施工を行う技術者不足が解消されていないことに加え、資材価格や労務費といった建設コストの高騰が工事収益を圧迫するなど、引き続き厳しい環境が続いております。

このような情勢下、当社グループは、安全と品質確保並びに技術力の向上を重点に事業活動を積極的に進めました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、**売上高**は40,926百万円（前年同期比 1,731百万円増加）となりました。利益におきましては、**営業利益**が2,700百万円（前年同期比 1,232百万円増加）、**経常利益**は2,865百万円（前年同期比 1,247百万円増加）で**親会社株主に帰属する四半期純利益**は1,873百万円（前年同期比 783百万円増加）となりました。



代表取締役社長

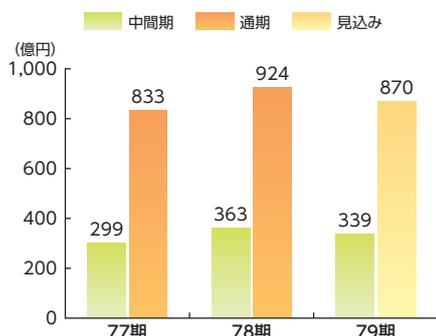
渡邊 清

株主の皆様におかれましても、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

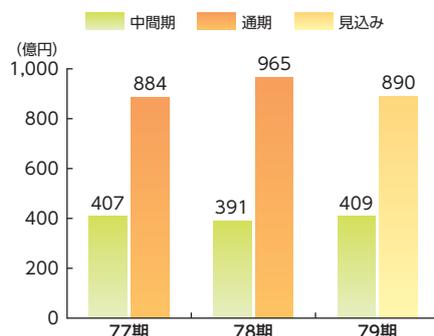
令和元年11月

財務ハイライト

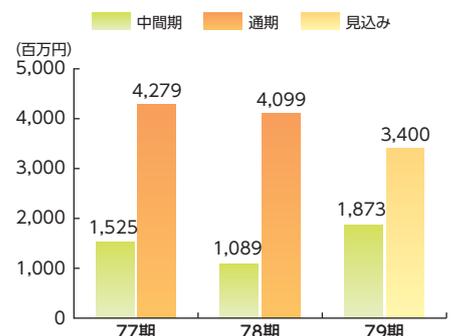
● 受注高



● 売上高



● 親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



四半期連結財務諸表

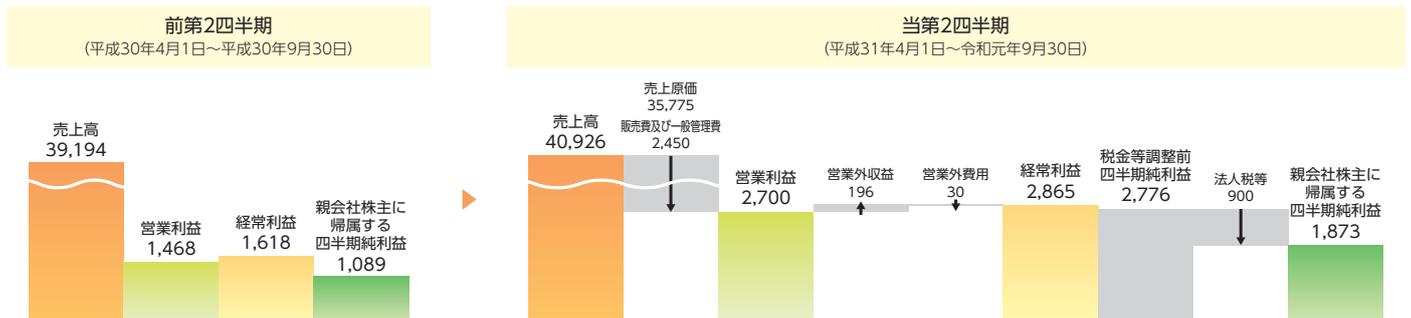
連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

前期末 平成31年3月31日		当第2四半期末 令和元年9月30日		前期末 平成31年3月31日		当第2四半期末 令和元年9月30日	
資産合計 89,780		資産合計 90,091		負債純資産合計 89,780		負債純資産合計 90,091	
有形固定資産 12,086	流動資産 55,118	有形固定資産 11,759	流動資産 57,659	流動負債 31,883	負債 40,021	流動負債 31,068	負債 39,903
無形固定資産 709	固定資産 34,662	無形固定資産 623	固定資産 32,432	固定負債 8,138	純資産 49,759	固定負債 8,834	純資産 50,188
投資その他の資産 21,866		投資その他の資産 20,048		株主資本 39,500		株主資本 41,120	
				その他の包括利益累計額 10,050		その他の包括利益累計額 8,856	
				非支配株主持分 209		非支配株主持分 210	

ポイント

- ・総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少しましたが、現金預金、未成工事支出金等が増加したことなどにより、前期末比 310百万円増加して90,091百万円となりました。
- ・負債は、短期借入金等が増加しましたが、電子記録債務、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより、前期末比 118百万円減少して39,903百万円となりました。
- ・純資産は、その他有価証券評価差額金が減少しましたが、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末比 428百万円増加して50,188百万円となりました。

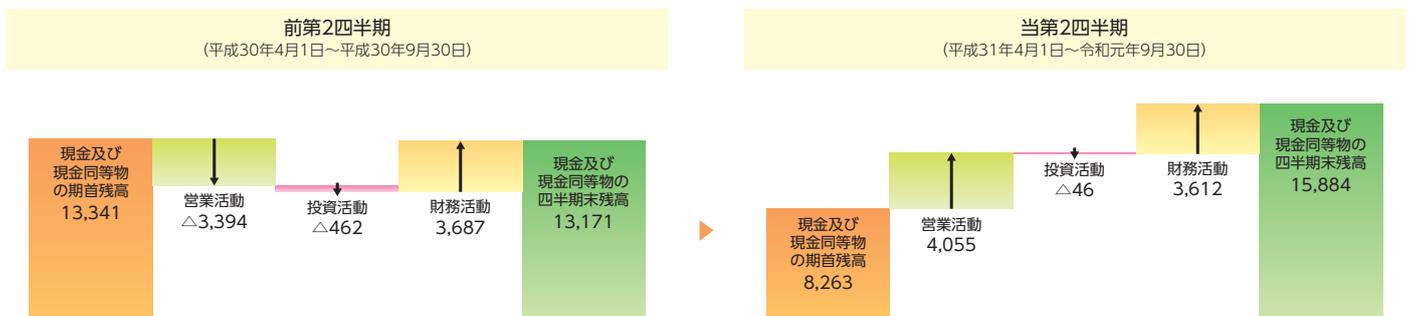
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



ポイント

- ・売上高は、建築部門で民間工事が減少しましたが、土木部門で官公庁工事中心に増加し、前年同期比 1,731百万円増加して40,926百万円となりました。
- ・利益におきましては、完成工事高の増加及び工事利益率の改善により営業利益が前年同期比 1,232百万円増加して2,700百万円となりました。また、経常利益は前年同期比 1,247百万円増加して2,865百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 783百万円増加して1,873百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



ポイント

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、4,055百万円の収入超過となりました。主な要因は、売上債権の減少、税金等調整前四半期純利益、その他の負債の増加等によるものです。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、46百万円の支出超過となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出等によるものです。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、3,612百万円の収入超過となりました。主な要因は、短期借入金の純増加等によるものです。

TOPICS

台風第19号 復旧作業について

このたびの令和元年台風第19号においてお亡くなりになられた方々へ謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

今回の台風により、当社が日々の保線を担当している東海旅客鉄道株式会社の在来線においても、土砂流入や倒木等の被害が多くあり、同社からの要請を受け、早期運転再開に向けて復旧作業を行いました。

今後も鉄道インフラを支える企業として、発災後の早期復旧に力を尽くし、社会に貢献できるよう努めてまいります。



被害状況 (倒木)



被害状況 (土砂流入)



復旧作業の様子



主な今期の施工物件

土木



参宮線池の浦Bo改築 (1)
(三重県伊勢市)



新東名高速道路杉名沢第二高架橋他1橋 (下部工) 工事
(静岡県御殿場市)



シビックコア地区整備推進事業 ペDESTリアンデッキ整備工事
(愛知県岡崎市)

建築



アスティ静岡東館リニューアル (2・3期) 工事
(静岡県静岡市)



教育館移転改築工事
(愛知県名古屋)



サンコールエンジニアリング株式会社 4期増築工事
(山梨県南アルプス市)

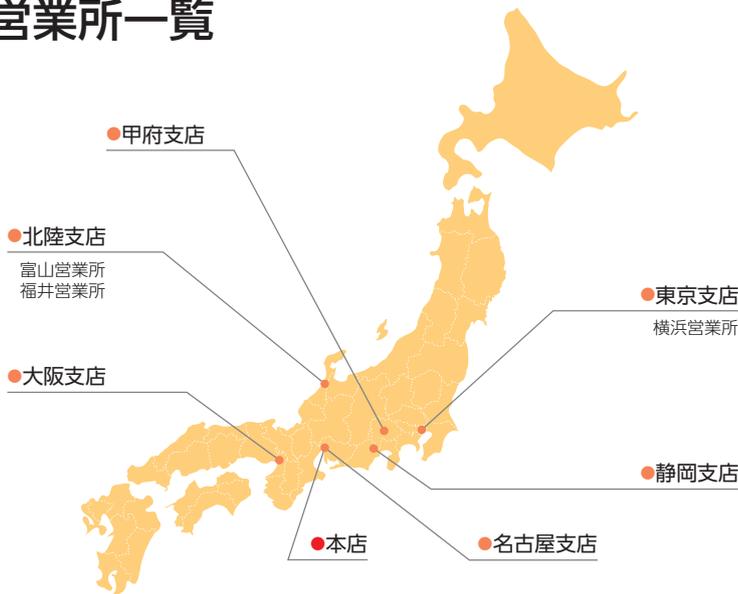
取締役及び監査役 (令和元年9月30日現在)

代表取締役社長	渡邊 清
取締役	甲坂 友昭
取締役	佐藤 武男
取締役	岡田 裕輝
取締役	里川 幸夫
取締役	速水 政彦
取締役	墨 弘昭
取締役	栗原 一生
取締役	本川 正明
取締役	石川 正俊
常勤監査役	佐藤 寛爾
常勤監査役	若杉 修司
監査役	高木 洋隆
監査役	田宮 正道

会社概要

- 商号
名工建設株式会社
- 英文商号
MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
- 設立
昭和16年6月28日
- 資本金
15億9,450万円
- 発行済株式数
27,060千株
- 従業員数(連結)
1,306名(令和元年9月30日現在)
- 本店所在地
名古屋市中村区名駅一丁目1番4号
JRセントラルタワーズ34階

営業所一覧



ホームページのご案内

<http://www.meikokensetsu.co.jp/>

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。施工実績、技術紹介など各種情報を掲載しているほか、IR情報のページでは決算短信などもご覧いただけます。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)
(電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告の方法

電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。電子公告掲載URL
<http://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku>

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

